

令和元年度事業報告書

平成31年4月 1日から

令和 2年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

事業活動

I スカイスポーツに関する人材育成及び啓発普及、並びに地域の発展に寄与する事業 (公益目的事業1)

グライダー・モーターグライダーの活動は、4月16日(火)から11月7日(木)まで行った。運航実績は、以下のとおりであった。

(括弧内の増減数は、対前年比)

- ・運航日数：172日(18日増)
- ・運航割合(運航した日数/活動期間の日数)：83%(9%増)
- ・グライダーの飛行回数：2,906回(294回増)
- ・グライダーの飛行時間：1,460時間(70時間増)
- ・モーターグライダーの飛行回数：290回(42回増)
- ・モーターグライダーの飛行時間：270時間(9時間増)

1 スカイスポーツに関する人材の育成事業

1. 1 操縦指導事業

1. 1. 1 スクール・キャンプ事業

① グライダースクール

- ・サマートレニングコース

実施回数：7回

参加人数：242名(92名減)

飛行回数：616回(243回減)

飛行時間：481時間(104時間減)

- ・ウィークリーコース(シーズン中の平日に随時実施)

飛行日数：45日(10日減)

飛行回数：184回(33回増)

飛行時間：164時間(14時間増)

- ・ウィークエンドコース(シーズン中の土日祝日)

飛行日数：63日間(7日増)

飛行回数：1,278回(180回増)

飛行時間：804時間(112時間増)

② グライダーキャンプ

- ・国立七大学等OB合宿(主管：大阪大学OB会)

7月29日(月)～8月2日(金)

参加人数：74名(13人減)

飛行回数：126回(6回減)

飛行時間：58時間(53時間減)

- ・ユースキャンプ(主管：ソアリスト)

8月13日(火)～8月16日(金)

参加人数：27名

飛行回数：34回

飛行時間：38時間

1. 1. 2 指導者・選手養成事業

- ・アシスタントインストラクター制度

アシスタントインストラクター制度を活用したものはなかった。

1. 1. 3 審査資格事業

① 特定操縦技能審査

特定操縦技能審査を実施した。

審査件数：32名(滑空機28名、軽飛行機4名)(5名増)

② 各種受験に関する指導及び試験

- ・航空従事者技能証明等の試験に関する指導及び実地試験の受入を行った。実地試験には、3名受験した。(昨年同数)

9月17日(火)：自家用(上滑)1名が受験し、合格した。

10月15日(火)：自家用(上滑)2名が受験し、合格した。

- ・日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験を実施した。

試験は、17件実施した。(9件増)

A章 8件

B章 4件

C章 4件

滞空5時間 1件

1. 2 整備支援事業

たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援を行った。

自社機を含む常駐機：28機(前年同数)

外来機／出張整備：7機（1機減）
また、無線局登録検査等事業者として、自社機を含む常駐機の航空機局無線機検査業務を実施した。
検査件数：20件（5件減）

1. 3 講習会事業

1. 3. 1 各種講習会を実施した。

- ① 愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会の開催
 - ・（公社）日本滑空協会が主催する異常姿勢回復訓練（EMFT）講習会を主管した
実施期間：9月14日（土）～9月16日（月）
対象：北海道内の滑空団体に所属する希望者
講師：櫻井玲子氏（日本グライダークラブ）
受講者数：10名
 - ・北海道滑空協会が開催した、北海道滑空協会指導者講習会を主管した。
テーマ：異常姿勢からの回復及び基礎曲技飛行
主催：北海道滑空協会
協力：（公社）北海道スカイスポーツ協会
実施日：10月26日（土）、10月27日（日）
講師：清水拓智
受講者数：5名
飛行回数：5回
講習内容：スピンをはじめとした異常姿勢からの回復操作および様々な姿勢を経験するための基礎的な曲技飛行の実地体験を行った。
- ② スカイスポーツを対象とした各種講習会への講師派遣
（公社）日本滑空協会主催の滑空スポーツ講習会に講師を派遣した。
 - ・12月14日（土） 長野グライダー協会研修室（長野県長野市）
 - ・1月25日（土） 小松屋グリーンホテル（岐阜県大野町）
 - ・2月9日（日） 航空会館（東京都港区）
派遣講師：日口裕二

1. 4 競技会の開催・支援事業

1. 4. 1 クロスカントリーキャンプ2019の実施

- 北海道内でX'C飛行を日常的に行うための環境を整えるとともに、北海道内の気流調査とO/Lフィールド調査を行うことを目的として実施した。（石狩川振興財団助成事業）
実施期間：5月18日（土）～5月26日（日）
内容：中級以上のパイロット（希望者）に対して、グライダーによるX'C飛行の理論提供と実践を行うキャンプを実施した。
参加人数：36名

1. 5 団体連携事業

1. 5. 1 国際交流事業の推進

- ① 海外に飛行教員2名を派遣し、滑空技術の向上のための情報交換を行った。
 - ・派遣者：日口裕二
期間：令和元年12月21日（土）～令和2年1月19日（日）
派遣先：ニュージーランド国オマラマ滑空場
 - ・派遣者：清水拓智
期間：令和元年12月13日（金）～26日（木）
派遣先：オーストラリア国ベナラ滑空場
- ② オーストラリア国より曳航機パイロット2名を招聘した。
 - ・招聘者：ロイド・バウム氏（83日間）
5月29日（水）～8月19日（月）
 - ジョン・ブライス氏（56日間）
8月21日（水）～10月15日（火）

1. 5. 2 国内滑空団体との連携

- ① 最新の情報、一般の人にも認知されやすい内容を心掛け、ホームページ、フェイスブックや掲示板を活用した情報発信を行った。
- ② 国内外のグライダークラブとの連携
全国クラブミーティングに参加し、各クラブが抱える課題や我が国の滑空界の底上げのための提案などについて、意見交換を行った。
 - ・第7回全国クラブミーティング
幹事クラブ：中部日本航空連盟
開催期間：11月2日（土）～3日（日）
開催場所：クリエート浜松／浜北滑空場（静岡県）
参加者：14団体25名（当協会から、日口裕二理事が出席）

2 啓発普及事業

2. 1 体験・青少年育成事業

2. 1. 1 児童・生徒を対象とした体験学習の受入

- ① 滝川市内全小学校および新十津川小の4～6年生までの内、1学年について、6月27日（木）～10月29日（火）までの間で、軽飛行機またはモーターグライダーによる体験搭乗を実施し、空から眺める郷土について、学習する場を提供した。
受入小学校数：7校（3校増）
体験搭乗者数：306名（147名増）
- ② 市内外の小中学校から児童・生徒の施設見学を受け入れた。
受入小学校数：4校（1校増）
見学者数：45名（21名減）
- ③ 滝川市内の中学校で行われているキャリア教育推進事業の一環として、職場体験の生徒を受け入れた。
受入中学校数：1校（前年同数）
受入生徒数：1名（2名減）

2. 1. 2 こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

- 道内の子供たちを対象に、軽飛行機およびモーターグライダーの体験搭乗や紙飛行機教室を実施した。
開催日：5月5日（土）
体験飛行応募総数：126名（16名減）
体験者数：51名（7名増）

2. 1. 3 ジュニアグライダークラブ／青少年会員の活動

- ① ジュニアグライダークラブは実質的な活動は行っていないため、希望者2名は、青少年会員として活動した。
- ② 今年度参加した青少年会員は9名（3名増）であった。全員、積極的に活動に参加し、順調に技術が向上した。

2. 1. 4 ユース会員の支援

- 大学生および大学を卒業した後も、社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を、ユース会員として登録した。
ユース会員数：49名（2名増）

2. 1. 5 グライダー等による体験飛行会の実施

- ① 滝川市民を対象とした体験搭乗会を実施した。
体験者数：175名（15名増）
実施期間：7月24日（水）～7月27日（土）の4日間
- ② 一般市民を対象とした体験搭乗を実施した。
体験者数：844名（287名増）
実施期間：4月20日（土）～11月7日（木）
- ③ 滝川市ふるさと納税におけるお礼の品として、グライダー体験飛行を提供し、寄附をされた方々に搭乗券を送付した。
体験者数：9名（3名増）
- ④ 地元産業界、行政機関との連携をより深くするために、滝川一心会の体験飛行会の受け入れを行った。
体験者数：9名（4名増）
実施期間：9月29日（日）～10月19日（土）

2. 1. 6 「そらぶちキッズキャンプ」の支援

- （公財）そらぶちキッズキャンプを支援するため、キャンプが実施している「そらぶち野菜ボックス・チャリティ販売」のおたのしみ品の一つとして、体験搭乗券を提供した。

2. 2 文化振興事業

2. 2. 1 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

- ① ヨゼフ・オペラーヒナー式MG19シュタインアドラーの耐空証明を取得し、サマースカイフェスタ2019において、デモフライトを行った。
- ② サマースカイフェスタ2019において、シェンプ・ヒルト式Gö3ミニモア及びMG19シュタインアドラーの地上展示を行った。
- ③ 体験飛行会は、実施しなかった。
- ④ 「ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト」報告会は、実施しなかった。
- ⑤ VGC等世界のヴィンテージグライダー団体とは、引き続き情報交換を行った。
- ⑥ 航空動態博物館内のヴィンテージ図書コーナーに全国の愛好家から寄贈された関係資料の、分類・整理・公開充実を図った。
- ⑦ 新十津川町ふるさと学園大学講演会において、ヴィンテージグライダーの紹介を行

った。(後掲)

3 地域の発展に寄与する事業

3. 1 イベント開催・支援事業

3. 1. 1 イベントの開催

① サマースカイフェスタ 2019 を開催した。(北門信用金庫まちづくり基金助成事業)

開催日：7月28日(日)

場所：たきかわスカイパーク

主催：(公社)滝川スカイスポーツ振興協会

滝川市

開催内容：

- ・グライダーによる曲技飛行
- ・ヴィンテージグライダーの飛行展示
- ・グライダーの地上展示
- ・スポーツカイト、ラジコン飛行機の演技飛行
- ・グライダー、軽飛行機の体験飛行
- ・パラグライダーの体験
- ・モーターグライダーによる空中菓子まき
- ・地上アトラクション
紙飛行機、竹とんぼの作製教室
滝川消防署消防車展示
陸上自衛隊滝川駐屯地車両展示
- ・グルメ、物販コーナー

来場者数：6,500名

3. 1. 2 航空祭の支援

① 「2019北海道スカイスポーツフェア イン 当麻」には参加しなかった。

② 千歳基地航空祭

開催日：8月4日(日)

場所：航空自衛隊千歳基地

主催：航空自衛隊

支援内容：モーターグライダー(ASW28E)の地上展示

来場者数：40,000名

3. 2 観光客受け入れ事業

① 海外から、インターネットやメールでの体験搭乗申し込みを受け入れた。

外国人体験搭乗者数：153名(台湾58名、香港55名、シンガポール19名、タイ6名、スウェーデン4名、韓国4名、カナダ2名、インドネシア2名、マレーシア1名、オーストラリア1名、中国1名)(62名増)

② インターネットを経由して、旅行会社から167名の体験搭乗の依頼があった(41名増)。

3. 3 スカイパーク施設の管理・運営事業

滝川市から委託されて、たきかわスカイパークの指定管理者として、施設運営及び事業を展開した。

3. 4 情報提供事業

たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対して、気象情報や航空交通情報の提供等、必要な飛行支援を行った。

II 利用者への施設提供事業(その他事業1)

1 利用者への施設提供

たきかわスカイパーク利用者への各種の施設提供を、計画通り実施した。

宿泊施設の利用状況

- ・利用者数：延べ215名(8名減)
- ・延べ宿泊日数：761日(51日減)
- ・1人当たりの平均宿泊日数：3.5日/名(0.1日/名減)
- ・施設稼働率：22%(1%減)

航空安全

スタッフ、会員及び飛行関係者の安全意識を喚起して、危険に対しての的確な見積りと、基本的で確実な危険回避動作を実施し、航空無事故を達成した。

無事故目標： 1,767日

管理部門

1 会員

(独)日本スポーツ振興センタースポーツくじ助成を活用して、新入会員勧誘用パンフレットを6,000部作成し、各種イベント、体験搭乗等で配布し、個人会員の入会勧誘を積極的に進めた。

会員の入退会状況

令和2年3月31日現在

会員種別		H27	H28	H29	H30	R1
正会員	個人	135 10 26	121 8 7	114 8 9	113 6 7	112 9 6
	法人	17 1 0	17 1 0	17 0 0	18 1 0	18 0 0
特別会員	個人	3 0 1	3 0 0	3 0 0	3 0 0	3 0 0
	団体	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0
小計		157	143	136	136	135

小数字 左:入会者数、右:退会者数

名誉会員	2	1	1	1	1	
賛助会員	個人	11	20	25	25	27
	法人	6	3	3	2	2
ユース会員	27	34	39	44	47	
青少年会員	2	3	6	6	9	
総計	206	204	210	215	221	

2 理事会・総会等

・第1回理事会

開催月日:平成31年4月26日(金)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:公益認定変更申請の結果、新規加入会員及び退会者

決議事項:平成30年度事業報告書及び付属明細書の承認、平成30年度財務諸表及び関連書類の承認、規程の変更(案)

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席8名

議決に必要な出席監事の数1名、出席2名

・第2回理事会

開催月日:令和元年5月28日(火)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:理事の職務の執行状況

決議事項:新規加入会員及び退会者

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席8名

議決に必要な出席監事の数1名、出席2名

・定時総会

開催月日:令和元年5月28日(火)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:平成30年度事業報告書及び付属明細書、平成31年度事業計画及び収支予算

決議事項:平成30年度財務諸表および関連書類の承認、役員を選任の承認

出席等:定足数67、出席会員議決数82、出席理事8名、出席監事2名

・臨時理事会

開催月日:令和元年5月28日(火)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

決議事項:会長、副会長、常務理事の選任

出席者:議決に必要な理事の数5名、出席8名

議決に必要な監事の数1名、出席2名

・第3回理事会

開催月日:令和元年11月28日(木)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:平成31年度事業の執行状況、平成31年度予算の執行状況、職務の執行状況

決議事項:新規加入会員及び退会者の承認

出席等:議決に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席1名

議決に必要な出席監事の数1名、出席2名

・第4回理事会

開催月日:令和2年3月25日(水)

場 所:たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項:新規加入会員及び退会者、平成31年度決算見込、会費規程細則の改定

決議事項:令和2年度事業計画書及び収支予算書の承認、積立資産の変更の承認、職員の懲戒処分承認、役員選任承認、「定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等」の承認

決議方法:同意書による見なし決議を行った

3 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページ等を活用して、当協会の運営に関する情報を公開した。

4 業務執行体制の整備と強化

理事8名、監事2名の体制で業務管理体制を維持するとともに、ボランティアスタッフの協力の下、各種事業を円滑に実施した。

5 その他

① 「ライダーの街たきかわ」をPRするために、JR滝川駅駅前広場に、ライダー(ICA IS-28B2)を展示した。

展示期間:平成31年4月18日(木)～令和元念10月31日(木)

② 北海道大学鳥人間研究会「北海道大学人力飛行機製作サークル Northern Wings」の試験飛行を支援した。

飛行日:令和元年6月8日(土)、令和元年6月22日(土)

③ 「新十津川町ふるさと学園大学」において、ライダーの紹介を行った。

日時:令和元年11月7日(木) 10:30～12:00

演題:「大空の魅力～ライダー」

講師:石井誠

場所:総合健康福祉センター「ゆめりあ」(新十津川町)

受講者数:60名

④ 赤い羽根実行委員会主催の「赤い羽根チャリティゴルフ大会」の実施目的に賛同して、体験搭乗券を提供した。

⑤ 滝川市体育協会主催の「マリンスポーツフェスティバル2019」の実施目的に賛同して、体験搭乗券を提供した。

※令和元年度事業報告書には、

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年4月

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会